

車上ねらいにご注意

身近な街頭犯罪のひとつに、「車上ねらい」と「部品ねらい」があります。犯罪の特徴を押さえて、被害防止に努めて下さい。

「車上ねらい」とは、自動車等の積荷や車内から現金や品物を盗む行為で、買い物などの際、ドアロックをせずに車を離れたちょっとした隙に被害に遭います。車外から、小銭や、バッグ、背広など金目のものが見えるとねらわれやすくなります。

「部品ねらい」とは、自動車等に取り付けてある部品、付属品を盗む行為で、犯人は運転席や助手席のガラスを割ったり、ドアをバールなどでこじ開けたりしてドアロックを開け、取り付けてあるカーナビやカーステレオなどを盗みます。

これらの被害の大半は駐車場で発生しています。

防犯対策

- ▶ 駐車するときは、必ずエンジンキーを抜きドアロックの有無を確認することを習慣付けましょう。最近では、キーリモコンでドアロックを開閉する車が多くなっています。鍵のかけ忘れを防止するために、必ずドアノブを引き、ロックされているか確認しましょう。
- ▶ 車内にバッグや背広などを置かないようにしましょう。また、駐車場に車を止めておくときは、ボディカバーをかけ、車内が見えないようにしましょう。
- ▶ 窓ガラスの破壊や衝撃、不正なドアの開閉に反応する警報ブザーの設置や、車外から見えるところに「警報ブザー設置」の表示物を置くことも防犯上有効な対策のひとつです。
- ▶ 駐車場の管理対策として、センサーライトや防犯カメラなどを設置し、車上ねらいが起きにくい環境を作ることも効果的です。

カーナビ盗難防止対策

- ・ 取り外しのできるカーナビは、持って出ましょう

- ・ 盗難防止機能が搭載されたカーナビにしましょう

カーナビには、自宅の位置など個人情報が記録されており、盗難に遭うと情報を悪用されるおそれがあります。最初にパスワードを設定すれば、万一盗まれても使用できなくなるセキュリティー機能が搭載されたものを選びましょう。

- ・ カーナビ盗難防止ネジを取り付けましょう

インダッシュタイプ（埋め込み型）のカーナビでもダッシュボードパネルが破壊されて盗まれてしまいます。カーナビの取り付けには、特殊工具でしか取り付けられない盗難防止用のネジを使うようにしましょう。